

一般出店者募集

日時 8月30日(土) 午後4時～10時(小雨実施、荒天は翌日に順延)

場所 武蔵五日市駅前から小中野交差点までの檜原街道沿い

対象 市内で事業を営んでいる個人または法人と市民の方。ヨルイチの趣



旨に協力できる方
檜原街道沿いなどの既存店舗の方は対象外です。周辺地域での露天商、フリーマーケットの出店はすべて禁止します。開催地域内およびその周辺の私有地を利用しての出店も禁止します。

区画 空地などを利用するため主催者の指定した間口などを1区画とします。

出店場所など 抽選の上選定し、出店場所を決定します。

出店料 1区画2000円

円
テナント(間口18畳×奥行0.9畳1張)は希望者のみ貸し出しますが、食品を扱う方は必要です。ランタン(電池式)を2個貸し出します。乾電池は各自でお持ちください。

出店制限
廉価商品、フリーマーケット商品は除きます。ヨルイチ実行委員会承認を得た商品に限ります。食料品の販売は、保健所の営業許可申請(臨時)の許可がある方が対象です。

申込み方法 7月11日(金)までに、申込用紙(あきる野商工会で配付)に、必要事項を記入し、郵送または直接お持ちください。

受付時間 午前9時30分～午後5時(土曜・日曜日を除く)

出店者説明会 出店決定者にお知らせします。申込み・問合せ あきる野商工会(あきる野ルピア3階、559・4511)、あきる野商工会五日市支所(五日市1773)

犯罪や非行を防ごう 社会を明るくする 運動強調月間

7月は「社会を明るくする運動」強調月間です。この運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。近年、犯罪が深刻な脅威として社会の重大な関心事

となつています。犯罪や非行が生まれるのは地域社会であり、また罪を犯した人や非行をした少年の更生を促す場も地域社会にほかなりません。そして、その更生を有効なものとするためには、本人の意欲、地域社会の理解と協力が不可欠です。そこで、今年の重点目標を「犯罪・非行の防止

と更生の援助のため、地域住民の理解と参加を求めるとし、統一標語を「防ごう犯罪と非行 助けよう立ち直り」として、関係機関・団体が連携し、地域に根ざした活動の展開を図ることとしています。

キャンペーン運動
日時：7月1日(火) 午前7時から

場所：東秋留駅、秋川駅、武蔵増戸駅、武蔵五日市駅

問合せ 生活福祉課庶務計画係(直通558・1927)へ

長年使用の家電製品は、熱、湿気、ホコリなどの影響で、内部部品が劣化し、発煙・発火の恐れがあります。思わぬ事故を防ぐために、家電製品の自主点検をお願いします。(財)家電製品協会のホームページ(<http://www.aeha.or.jp/>)では、家電製品を自分で簡単にチェック、診断することができする方法を紹介しています。「おかしいな」と思ったら、すぐに使用を中止し、販売店やメーカーのお客様相談窓口などに相談してください。

ISO14001の取組状況

平成19年度はすべての項目で目標を達成

市では、平成14年9月、市役所を対象に「環境マネジメントシステム」の国際規格ISO14001を認証取得し、環境にやさしい行政活動に取り組んでいます。

平成19年度の取り組みの結果は、電力使用量、水総使用量、庁用車燃料使用量、紙使用量・古紙配合率、一般廃棄物排出量のすべての項目で目標を達成することができました。



電力使用量

目的	省エネルギーを推進する。
目標	電力使用量の監視測定 目標値 1,707,100kwh
実績	実績値 1,515,684kwh 削減率 11.2%
主な活動	・屋外照明の点灯時間短縮や屋内照明の間引き点灯など照明機器の管理をしました。 ・ブラインドを活用して冷暖房効率を高めるなどして冷暖房時の電力使用を徹底管理しました。

水総使用量

目的	省資源化を推進する。
目標	水総使用量(上水および雨水)の監視測定 目標値 5,345m ³
実績	実績値 5,059m ³ 削減率 5.4%
主な活動	・トイレの洗浄水量の調整による水使用量の抑制、庁用自動車の洗車はバケツに汲み取った水で行い、水を流し放しにして洗車をしないなど水使用量の削減に努めました。 ・市役所では、雨水を雑用水としてトイレの洗浄水や洗車に利用しています。

庁用車燃料使用量

目的	省資源化を推進する。排出ガスを抑制する。
目標	庁用車燃料使用量の監視測定 目標値 40,998
実績	実績値 35,280 削減率 13.9%
主な活動	・庁用車を6台削減し、低公害車を4台購入しました。 ・公共交通機関の積極的利用や庁用車利用時には不要なアイドリングをしない、経済速度運転など燃料使用量の削減に努めました。

紙使用量・古紙配合率

目的	省資源化を推進する。 環境に配慮した物品購入を推進する。
目標	紙使用量・古紙配合率の監視測定 目標値 22,011kg
実績	実績値 18,128kg 削減率 17.6% 古紙配合率実績 99.9%
主な活動	・資料の両面印刷や片面使用済み用紙の裏面利用などを徹底しました。 ・事務用紙は、古紙配合率の高いもの、白色度の低いものの購入に努めました。

一般廃棄物排出量

目的	廃棄物の減量化を推進する。
目標	一般廃棄物排出量の削減 目標値 22,064kg
実績	実績値 19,432kg 削減率 11.9%
主な活動	・ごみの分別排出、使用済み紙類の再活用や資源化を徹底しました。 ・物品納品業者にダンボールなどの梱包材返却や自販機設置業者に空き缶・紙コップ類の返却を徹底しました。 ・機密文書は、機密文書抹消処理手順を定め、文書を破砕処理後、紙資源としてリサイクルしました。

環境マネジメントシステムの見直し

ISO14001では、環境マネジメントシステムの有効性を確実にするために、環境管理総括者である市長の見直しを定期的に行わなければならないことになっています。市長によるシステムの見直しを3月26日に行いました。この見直し結果を踏まえ、平成20年度の各活動項目の数値目標を設定し、継続的に環境負荷の低減および保全に取り組んでいきます。

問合せ 環境管理事務局(総務課庶務係、直通558-1329)

長年使用している家電製品の自主点検をお願いします